

山口大学六月生活報告書

三年一班 黄泓鈞

毎回生活報告書を書くたび、もう一か月過ぎたかの感じがする。台湾に帰りたいが、同じく日本にも離れたくない。ここにいればいるほど、思い出がだんだん増えていく。心の矛盾が強くなり、きつとこの後は辛いだらう。でもそれはいつか来る。今はその日を待ちながら、メンタルを調整すると思う。

六月に入って、すぐに蛍の祭りがあった。元々知らなかった私達はトランプをやっていたのだが、蛍は滅多に見られるものではないので、結局行くことになった。その時はもう夜九時だった。到着すると祭りはもう終わるのに、人はまだ大勢いる。蛍もまだまだキラキラのまま、初見の蛍祭りは自分にとって大成功だ。

中旬になって、バイト先で知り合った台湾人と大分県へ遊びに行った。楽しい気分で乗車した暫く、座るところの狭さに敗れて、目的地に着く間はもう気持ち悪いしか言えない。だがそのあとに行った地獄や草原、湖などなどがよかったので、途中で悪い気分はもうなくなっ

た。それが帰る途中、また体験した。やっぱり七人に車
一台は無理があると勉強した。

帰るまであと二か月もないが、悔いのない日本生活に
する！



2018/8/1